

「シドニー便り 2. 0」(第5回)

～ 姉妹都市関係と市民間交流 ～

12月5日

着任早々、日本の各都市と姉妹都市関係を有するニューサウスウェールズ(NSW)州のいくつかの街を訪問する機会を得ました。ダボ、ニューカッスル、バサースト、キャンベルタウンを訪問し、リズモアからはお客様をお迎えしました。

シドニーの所在する NSW 州の自治体は、日本の39の地方自治体と姉妹都市関係を結んでいます。姉妹都市関係の成立のきっかけは様々なようです。双方の首長さんの出会いを通じた関係、日本・豪州大好きの地元関係者の熱いイニシアティブ、二つの街に共通するテーマの存在などが挙げられます。共通するのは、街を挙げて温かな交流を育んでこられてきたこと、そして学生・若者間の交流が盛んなことです。

11月、リズモア市のマクラレン温子先生を公邸にお迎えしました。姉妹都市である奈良県の大和高田から来られた、日豪学生交流に携わる中山先生等とご一緒の来訪でした。大和高田市とリズモア市は、明年姉妹都市関係60周年を迎える、もっとも歴史の長い姉妹都市です。マクラレン温子先生は、リズモアのサザンクロス大学で長らく日本語を教えて来られました。今回は、マクラレン温子先生のお導きで、ポール・グリーン神父をハンターズヒルの協会に訪れ、面会することができ、光栄でした。着任前に、大和高田近郊に眠っておられるお兄様、トニ・グリーン神父のお墓参りをしたことを報告させて頂きました。リズモア市出身のグリーン神父兄弟は、元 POW 豪州人の皆さまの心の傷を癒すべく、奈良・大和高田とオーストラリアで様々な交流を主導され、日豪の和解に多大なる貢献をされた方です。同兄弟の活動は「愛の鉄道」という映画に結晶されています。来年の姉妹都市60周年をどのような形で両市が迎えるのかを温かく見守りたいと思います。私自身も、できるだけ早く、リズモア市を訪問したいと思います。

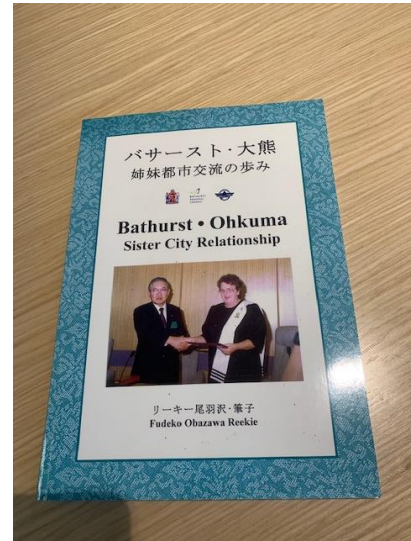
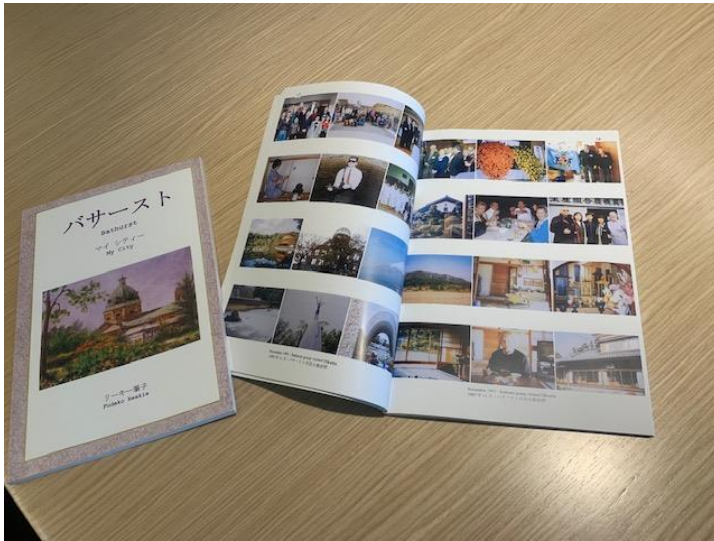


(着任前に奈良県を訪問)



10月には福島県大熊町と姉妹都市関係にあるシドニーから西に約3時間のバサースト市を訪れました。同市はオーストラリア有数のモーターレース「バサースト1000」で有名な街です。同市では、リーキー筆子氏が35年間日本語教師として勤務をされ、大熊町との交流を支えてこられました。バサースト市には「大熊庭園」もあります。東日本大震災で大熊町が被災した時には、多くの義捐金がバサースト市から寄せられたとのこと。リーキー筆子氏からは、両自治体の交流の歴史を綴った貴重な資料集を頂きました。日豪友好に取り組む関係者の努力がここに結集されています。





また、シドニーから車で約一時間のキャンベルタウンは埼玉県越谷市と姉妹都市関係をつんでおり、その歴史は40年近くに上ります。11月に「家族祭り(”KAZOKU” Festival)」と題して日本庭園のある文化センターで年齢を問わず様々な方々が集い、日本の伝統的な太鼓や踊りなど様々なパフォーマンスが披露され、大にぎわいでした。きれいに手入れされた日本庭園と、立派な文化センターが印象的でした。かつてオーストラリアで製造していた日本酒「豪酒」のオーナーとお目にかかる機会も得て、有益なお話を伺うことができました。この街も日本語教育が交流の柱の一つのようです。やはり目立っていたのは高校生の皆さまでした。



同じく11月、シドニーから西に約400キロのダボ市を訪れました。交通の要衝にあたる街です。今年は、美濃加茂市が、茶室「逍遙園(Shoyo-en)」を擁する日本庭園を寄贈してから20周年の記念すべき年にあたるということで、美濃加茂市から代表団が訪れました。「逍遙園」は美濃加茂市出身の作家、坪内逍遙氏にちなんでいます。「美濃加茂通り(Minokamo Way)」もあります。姉妹都市関係は30年以上続いており、高校生間の交流も盛んです。当日の記念夕食会の通訳を務められた美濃加茂の女性の方が英語をととても流ちょうにお話しされていた

ので背景を伺ったら、高校生時代にダボにホームステイをし、それ以来の縁で現地の男性と結婚されたとのことで、心温まる話でした。翌朝は現地で交流に携わる夫妻に朝食にお招きいただきました。ダボには、シドニーで有名なタロンガ動物園の姉妹園(ただしサイズはシドニー以上)の巨大な動物園があります。開拓時代の名残をとどめた歴史遺産(Old Gaol なので監獄博物館という表現が正確かもしれません)もあります。赤白ワインとラム肉を誇りにしていると聞きましたので、この機会に宣伝させていただきます。



「大都市」というところでは、名古屋市とシドニー市、東京都とNSW州も姉妹都市関係にあります。名古屋市は特に地元の中小企業の豪州進出を応援しているというお話を、着任前に河村市長、名古屋市役所の皆さまを訪問した際に伺いました。姉妹都市関係が経済交流の基礎になっている好例です。名古屋の東山動物園とシドニーのタロンガ動物園は「姉妹動物園」だそうです。「姉妹交流」はいろいろな形態で創造的に創り上げていくことができると感じました。

以上は、これまで2か月少々で私が接することのできた姉妹都市交流の一例です。これからも日本と交流を進めている街を訪れます。目的は、交流事業に携わっている方々への敬意の表明と、引き続きの支援のお約束です。ほとんどがボランティア活動により成り立っているのは、携わる方々の日豪関係への愛着によるものと信じています。

日本とオーストラリアを互いに愛して頑張っている方を応援する、それが総領事館の重要な仕事だと思います。

(以上)